

駐在員だより「ミシガンの街がスクリーンに！」

今年、3月25日（金）に世界中で公開された映画「バットマン vs スーパーマン：ジャスティスの誕生」。この映画の撮影はミシガン州でも行われていました。オープニングではデトロイト市内の道路が使用され、映画内での喫茶店のシーンもまたデトロイトの喫茶店が、またパーティーのシーンでは、イーストランシング市にありますミシガン州立大学の美術館が撮影の舞台でした。

2年前の平成26年(2014年)の秋にミシガン州立大学の美術館周辺が立ち入り禁止になっていて、隣接する道路には数台の8トントラックのような運搬車両が数台、停車していて、おまけに交通規制がされていました。何かあるのかなと不思議に思っていたところ、「美術館で映画を撮影している。バットマン VS スーパーマンらしい。」との話を聞き、驚いたことを覚えています。実際、美術館は一週間休館して撮影したそうです。

イーストランシングに住んでいる人もエキストラで出演した人がいたようです。エキストラを募集していたという広告を見た人もいました。

この映画のどの場面で、どこがロケに使われていたのかということもアプリで分かるようにしており、ミシガン州の映画関係事業促進に取り組んでいるミシガン・フィルム・デジタル・メディア・オフィスでは、映画製造会社と一緒に映画だけではなく、その後の観光等にもつながるような仕掛けも行っています。(www.batmanvsupermantour.com)

私もこの映画を見てきました。平日の午後6時からでしたが、料金は5ドルでした。



映画の舞台の一つ、ミシガン州立大学の
Eli and Edythe Broad Art Museum